

🚺 保管・取扱いに関する注意事項

- 製品本来の目的・仕様以外でご使用になると危険ですので十分注意してください。
- ●作業時には関係者以外の人が現場に立ち入らないように十分注意してください。
- ●リフト及びクレーンでの製品の移動時は荷崩れしないよう、静かに移動してください。
- ●施工治具(吊りワイヤー、金具等)は使用前に十分に点検を行ってください。●施工治具の製品への取り付けは確実に行ってください。
- ●重量物ですので、据え付け吊り込み中は、製品の下に入らないでください。
- ●現場での作業時には、適切な保護具(ヘルメット、手袋、安全靴)をご使用ください。

カタログご利用にあたってのお願い

- ●このカタログに掲載の製品は、令和5年5月現在のものです。
- ●このカタログは、当社取り扱い製品の主要事項を掲載したものです。
- 詳しい説明、使用図面等さらに詳しい資料を必要とされる場合には、担当者までお申し付けください。
- ●掲載製品の中で、一部取り扱いできない地区・地域があります。
- ●掲載製品の規格寸法につきましては、成型寸法となっておりますので表面加工により実寸法とは異なる場合があります。
- ●単体図・展開図・断面図は参考例ですので、ご使用にあたっては設置場所、設置条件を考慮してください。
- ●製品質量は参考値のため、仕様材料(セメント・骨材等)により、若干の変動があります。
- ●カタログ以外の製品、および特注品についても、設計・製作いたします。担当者までお申し付けください。
- ●掲載製品の色につきましては、印刷の関係上、実物とは多少異なる場合があります。



丸高コンクリート工業株式会社

URL https://www.marucon.co.jp/

本 社 〒915-0057 福井県越前市矢船町1号6番地 tel. 0778(24)1234 fax. 0778(24)4050 三重事業所 〒514-2106 三重県津市美里町足坂116番地 tel. 059(279)3355 fax. 059(279)2195

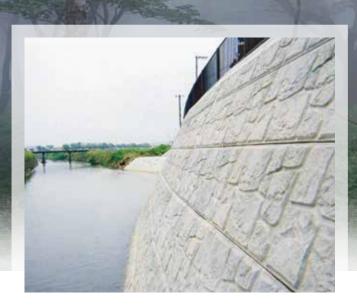


自立型自由擁壁 Me型大型ブロック



丸高コンクリート工業株式会社

当大型ブロック構造は、大型ブロック+専用金網の組み合わせとし、 ブロックのかみ合わせ構造、ブロックと金網間の中詰めコンクリートにより、 ブロック間の結合を強固にした、ブロックが一体となって土圧に抵抗する、 もたれ式擁壁に準じた構造である。又、大型ブロック擁壁として、控え厚を 10 c m刻みの等厚を基本としているため、経済性を兼ね備えた大型ブロック 積擁壁であり、現場において設計変更が生じ、控え厚の変更がある場合に おいても柔軟な対応が可能な構造である。





Me型大型ブロック(Meブロック) 3つの特長

1. 強固な擁壁構造と案定性

大型ブロック+中詰めコンクリート+専用金網(背面材)により一体構造物を 形成し、又 中詰コンクリートが専用金網からのノロの流出により、擁壁背面の 裏込め材や現況背面土と接着することにより、擁壁背面と背面土の摩擦力が 増し、従来の構造より強固な構造となります。

2. 大型化と軽量部材による優れた施工性

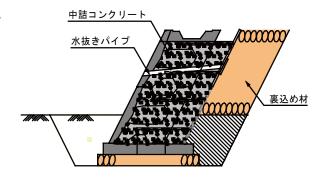
1.0個当たりのブロック面積が2.236㎡以上と大きいので施工効率が良くなります。また、従来の控えの大きなブロックより軽量であるので、施工におけるブロック調整が簡単にできます。前面の大型ブロックと背面の専用金網の組み立てにおいては、ブロック背面部材が軽量であるので、人力による組立てが可能となり、前面ブロックの設置前、設置後にかかわらず、施工現場の状況に応じた据え付け施工が出来ます。

3. 優れた経済性

ブロック控え厚を10cm刻みに計画出来ることで、現場に合った 経済断面が築造できます。ブロック控え厚を等厚にすることにより、 多段積にするより土圧が軽減できる為、経済断面を計画することが出来ます。

※施工写真はイメージです。

8. 2段目の中詰め4コンクリート・裏込め材の施工 水抜きパイプを設置し、ブロック上面より20cm 程度下げた位置までコンクリートを打設します。



9. 天端コンクリート施工

3段目以降も同様の施工を繰り返し、所定の段数まで施工が終わったら 天端コンクリートを施工します。

10. 完成

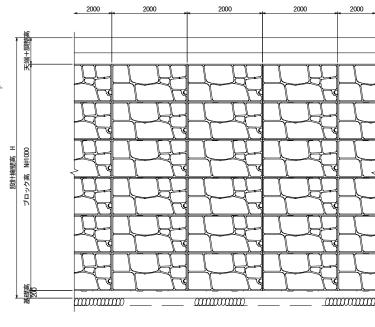






断面図

展開図



施工要領

- 1. **基礎砕石工又は均しコンクリート工** 所定の位置に基礎砕石の施工又は、均しコンクリートの打設を行います。
- 2. **M e ブロック組み立て** M ブロックと背面材をセパレーターで連結し、M e ブロックを組み立てます。







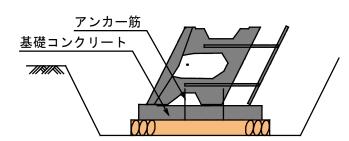
3. **ブロック寸法確認** 組立て後、Meブロックの控えが所定の 控え厚になっているかの確認を行います。



4. 基礎工

基礎コンクリートを打設し、アンカー筋 (D16 L=400mm) を1000mmピッチに 所定の配列で配置します。

5. **1段目の据え付け**Mブロックをクレーンで吊り上げ、
基礎コンクリートの上に据付けます。



中詰コンクリート

裏込め材

不透水性土

6. 埋め戻し、1段目の中詰コンクリート打設、 裏込め材投入

前面には良質土、背面には前面と同高で不透水性土を埋戻し、中詰コンンクリートをブロックの上面より20cm程度下げた位置まで打設します。最後に裏込め材を投入し、十分に転圧します。

 2段目のブロック

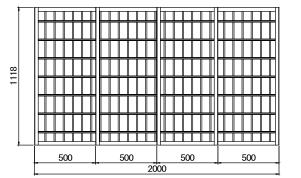
 中詰コンクリート

 裏込め材

7. 2段目の据付け・裏込め材投入 2段目のブロックを据付け、裏込め材を 投入し、十分に転圧します。

背面材規格寸法





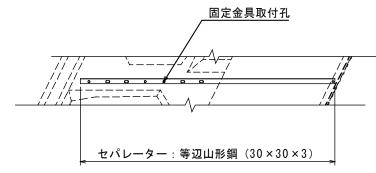




建設技術審査証明書(建築技術) 基礎構造体に用いるメッシュ型枠工法 「メッシュ型枠パネル工法 エコウェルメッシュ」 様々な建築物に 使用されています 大型物流倉庫・大型流通店舗・工場・公共施設

セパレーター(組立て部材)





Me型大型ブロック(Meブロック) = Mブロック+e背面材



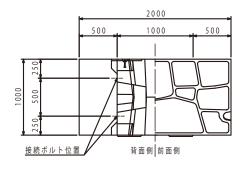


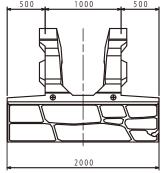
Me型大型ブロック (Meブロック) 単体製品寸法

Mブロック(基本ブロック)



Mブロック(基本ブロック)

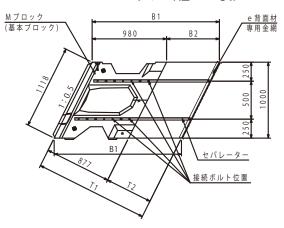




Meブロック(組立て後)



Meブロック(組立て後)



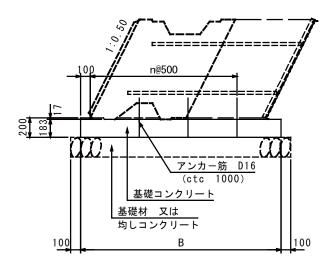
Mブロック 参考重量:1150kg

+0+4	控え厚		寸法	(mm)	中詰めコンクリート(㎡)
規格	T1	T2	B1	B2	10㎡当たり
1100型	1100型	223	1230	250	9. 061
1200型	1200型	323	1342	362	10. 063
1300型	1300型	423	1453	473	11. 055
1400型	1400型	523	1565	585	12. 057
1500型	1500型	623	1677	697	13. 059
1600型	1600型	723	1789	809	14. 061
1700型	1700型	823	1901	921	15. 063
1800型	1800型	923	2012	1032	16. 055
1900型	1900型	1023	2124	1144	17. 057
2000型	2000型	1123	2236	1256	18. 059
2100型	2100型	1223	2348	1368	19. 061
2200型	2200型	1323	2460	1480	20. 063
2300型	2300型	1423	2571	1591	21. 055
2400型	2400型	1523	2683	1703	22. 057
2500型	2500型	1623	2795	1815	23. 059
2600型	2600型	1723	2907	1927	24. 061
2700型	2700型	1823	3019	2039	25. 063
2800型	2800型	1923	3130	2150	26. 055
2900型	2900型	2023	3242	2262	27. 057
3000型	3000型	2123	3354	2374	28. 059

注意:中詰コンクリート量においては、背面金網からのノロ漏れにより、表数量より10㎡当り、0.03㎡多くなります。

基礎工(現場打ちコンクリート)

断面図



	控え厚	基礎幅	アンカー筋
呼び名	T1	В	n
1100型	1100	1500	2
1200型	1200	1600	2
1300型	1300	1700	2
1400型	1400	1800	2
1500型	1500	1950	3
1600型	1600	2050	3
1700型	1700	2150	3
1800型	1800	2250	3
1900型	1900	2400	4
2000型	2000	2500	4
2100型	2100	2600	4
2200型	2200	2700	4
2300型	2300	2800	4
2400型	2400	2950	5
2500型	2500	3050	5
2600型	2600	3150	5
2700型	2700	3250	5
2800型	2800	3400	6
2900型	2900	3500	6
3000型	3000	3600	6